

登場人物の気持ちを「思いのとびら」に表そう！



↓作成した「思いのとびら」



↑振り返りもすらすら書けるようになりました！



←プリントへの書き込みもびっしり！



国語「ごんぎつね」の単元では、いたずら好きの小ぎつね「ごん」が「兵十」に伝えられなかった思いを叙述から読み取り、「思いのとびら」に書き表すという活動をしています。子どもたちは、登場人物の行動から気持ちを読み取り、プリントの隙間がなくなるほど書き込んだり、友達と話し合ったりしています。

今後は、「ごんぎつね」の学習で学んだことを生かして、「おにたのぼうし」と「泣いた赤おに」でも、「思いのとびら」を作成していきます。